

2016年 3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月17日

東亜建設工業株式会社

目次

I ⁻¹ . 2016年3月期 第2四半期決算結果	－ 3
I ⁻² . 事業分野別 受注実績（単体）	－ 4
I ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益実績（単体）	－ 5
II ⁻¹ . 2016年3月期 業績見通し	－ 6
II ⁻² . 事業分野別 受注見通し（単体）	－ 7
II ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益見通し（単体）	－ 8
III. 上半期の主な受注工事の状況	－ 9～10
IV. 最近の技術開発	－ 11

I-1. 2016年 3月期 第2四半期決算結果

(単位：億円、%)	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期			
	連結	単体	連結	前年同期比	単体	前年同期比
受注		1,072.6			942.4	△12.1%
売上高	811.2	751.4	988.1	21.8%	946.8	26.0%
売上総利益	49.3	38.3	118.1	139.6%	109.3	185.1%
売上総利益率	6.1%	5.1%	12.0%	5.9	11.5%	6.4
一般管理費	46.4	41.6	47.0	1.4%	42.1	1.0%
一般管理費率	5.7%	5.5%	4.8%	△1.0	4.4%	△1.1
営業利益	2.9	△3.3	71.1	-	67.1	-
営業外収益	2.2	2.1	1.9	△10.7%	1.9	△10.3%
営業外費用	3.5	2.9	6.7	92.3%	6.3	111.9%
経常利益	1.6	△4.1	66.3	-	62.8	-
特別利益	0.0	0.0	0.1	503.1%	0.1	503.1%
特別損失	0.9	0.7	1.0	6.1%	1.0	39.3%
税引前利益	0.7	△4.8	65.5	-	61.9	-
当期純利益	△2.9	△5.9	39.8	-	38.2	-
総資産	1,847	1,697	1,908		1,784	
純資産	640	580	722		643	
自己資本比率	34.5%	34.2%	37.6%		36.0%	
有利子負債残高	296	251	263		224	
D/Eレシオ	0.50	0.48	0.41		0.39	

■業績数値

□受注（東亜単体 942億円）

□売上高

豊富な繰越工事が順調に進捗、好調な上半期の受注も寄与し、増収。

□売上総利益

売上高の増加と採算性の向上により、大幅増益。

□営業利益

一般管理費が微増で収まり、大幅増益。

□当期純利益

第2四半期では過去最高の当期純利益を計上。※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

■財務数値

□自己資本比率

連結・単体ともに、36%台以上を確保。

□有利子負債残高

借入金の返済等により減少。

□D/Eレシオ

連結は0.4台、単体は0.3台を達成。

注) 資料全般にわたり、金額は億単位で表記しておりますが、前期比の%表示は決算短信ベース(百万円単位)で表記しているため、率計算が合わない箇所がございます。

I-2. 事業分野別 受注実績(単体)

受 注		2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		
(単位：億円)		実績	構成比	実績	前年同期比	構成比
国内土木	官庁	378.2		516.7	36.6%	
	民間	107.1		141.5	32.0%	
	計	485.4	45.3%	658.2	35.6%	69.8%
国内建築	官庁	34.2		17.9	△47.7%	
	民間	235.8		183.2	△22.3%	
	計	270.0	25.2%	201.1	△25.5%	21.3%
国内計		755.5		859.3	13.6%	
海外	土木	291.3		48.8	△83.2%	
	建築	8.8		19.5	120.9%	
	計	300.2	28.0%	68.4	△77.2%	7.3%
	土木	776.8		707.0	△9.0%	
	建築	278.9		220.6	△20.9%	
建設事業計		1,055.7		927.7	△12.1%	
開発事業等		16.8	1.6%	14.6	△13.0%	1.6%
合 計		1,072.6	100.0%	942.4	△12.1%	100.0%

□受注高 (942億円 前年同期比 △12.1%)

■国内土木 (658億円 前年同期比 35.6%)

- ・官庁土木は、前倒し発注の影響もあり、大幅に増加。
- ・民間土木も、エネルギー関連施設の受注が相次ぎ、大幅増。

■国内建築 (201億円 前年同期比 △25.5%)

- ・官庁建築は、災害公営住宅などの受注もあったが、減少。
- ・民間建築は、得意の冷蔵倉庫や工場の受注はあったが、減少。

■海外 (68億円 前年同期比 △77.2%)

- ・海外土木は、前年同期に大型工事の受注が集中したこともあり大幅に減少。
- ・海外建築は、国内で豊富な実績を持つ冷蔵倉庫の受注などがあり、増加。

I-3. 事業分野別 売上高・損益実績(単体)

売上高		2015年 3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期	売上損益 利益率	2015年 3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期
(単位：億円)		実績		実績	(単位：上段=億円、 下段=%・ポイント)	実績		実績
国内土木		339.9		452.6	33.1%	37.2		63.3
						11.0%		14.0%
国内建築		264.8		209.0	△21.1%	7.2		17.5
						2.7%		8.4%
国内計		604.8		661.7	9.4%	44.5		80.9
						7.4%		12.2%
海外	土木	127.4		229.2	79.8%	海外		27.8
	建築	12.8		44.4	245.4%			10.2%
海外計		140.3		273.7	95.0%			9.9
	土木	467.4		681.8	45.9%	原価差額等	△7.7	△1.6
	建築	277.7		253.5	△8.7%			△78.0%
建設事業計		745.2		935.4	25.5%	建設事業計	37.2	107.0
								11.4%
開発事業等		2.6		6.3	135.8%	開発事業等	0.0	0.9
								14.9%
不動産等		3.5		5.0	40.0%	不動産等	1.0	1.3
								26.2%
合計		751.4		946.8	26.0%	合計	38.3	109.3
								11.5%

□売上高 (946億円 前年同期比 26.0%)

- 国内土木 (452億円、前年同期比 33.1%)
豊富な繰越工事が順調に進捗したことに加え、好調な上半期の受注も寄与し、大幅増。
- 国内建築 (209億円、前年同期比 △21.1%)
前年同期に比べ、減少。
- 海外 (273億円、前年同期比 95.0%)
前期に受注した豊富な繰越工事の進捗が想定より上回り、大幅増。

□売上損益 (109億円 前年同期比 185.1%)

- 国内土木 (63億円、前年同期比 70.0%)
完成工事高の増加もあり、大幅増。
- 国内建築 (17億円、前年同期比 141.4%)
資機材・労務費の上昇が想定を下回ったことも採算性向上に繋がり、大幅増。
- 海外 (27億円、前期比 -)
一部の不採算工事は前期末に竣工、繰越工事も順調に進捗し、大きく回復。

Ⅱ-1. 2016年 3月期 業績見通し

(単位：億円、%)	2015年3月期 実績		2016年3月期					
			期首予想		見通し			
	連結	単体	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比
受注		2,377		1,670			1,670	△ 29.8%
売上高	1,988	1,867	2,000	1,870	2,050	3.1%	1,950	4.4%
売上総利益	152	134	148	131	205	34.1%	185	37.6%
売上総利益率	7.7%	7.2%	7.4%	7.0%	10.0%	2.3	9.5%	2.3
一般管理費	95	85	98	89	105	9.5%	92	7.1%
一般管理比率	4.8%	4.6%	4.9%	4.8%	5.1%	0.3	4.7%	0.1
営業利益	56	48	50	42	100	75.6%	93	91.7%
営業外収益	5	4	4	4	3	△40.1%	3	△ 37.2%
営業外費用	8	7	8	7	11	23.7%	9	14.8%
経常利益	53	45	46	39	92	73.3%	87	91.3%
特別利益	11	10	0	0	0	-	0	-
特別損失	9	8	5	5	8	△11.6%	8	△ 7.8%
税引前利益	55	47	41	34	84	52.4%	79	66.7%
当期純利益	20	16	22	18	56	169.2%	53	221.0%
有利子負債残	292	250	2015年度迄に 300億円	2015年度迄に 250億円	2015年度迄に300億円		2015年度迄に250億円	
D/E レシオ	0.48	0.46	2015年度迄に 0.5倍	2015年度迄に 0.45倍	2015年度迄に0.5倍		2015年度迄に0.45倍	

■業績数値

□受注

単体：1,670億円

□売上高

国内土木・海外の豊富な手持ち工事が順調に進捗し、連結・単体ともに前期及び期首予想値を超える見込み。

□売上総利益

売上高増加と利益率改善に伴い大幅に増益。

□一般管理費

微増となる見込み。

□当期純利益

連結・単体ともに前期及び期首目標値を大きく上回る見込み。

※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

■財務数値

2015年度迄の目標達成に向け、有利子負債残高、D/E レシオともに達成の見込み。

Ⅱ-2 事業分野別 受注見通し(単体)

受 注 (単位：億円)		2015年3月期		2016年3月期		
		実績	構成比	見通し	前期比	構成比
国内土木	官庁	802		725	△9.7%	
	民間	249		220	△11.9%	
	計	1,052	44.3%	945	△10.2%	56.6%
国内建築	官庁	60		50	△17.0%	
	民間	450		450	△0.1%	
	計	510	21.5%	500	△2.1%	29.9%
国内計		1,563		1,445	△7.6%	
海外	土木	765		190	△75.2%	
	建築	25		20	△21.9%	
	計	790	33.2%	210	△73.4%	12.6%
	土木	1,817		1,135	△37.6%	
	建築	536		520	△3.0%	
建設事業計		2,353		1,655	△29.7%	
開発事業等		23	1.0%	15	△36.0%	0.9%
合 計		2,377	100.0%	1,670	△29.8%	100.0%

□受注高 (1,670億円 前期比 △29.8%)

■国内土木 (945億円 前期比 △10.2%)

- ・官庁土木は、上半期の受注は好調。施工要員が逼迫している問題を慎重に考慮しながら、更なる上積みを目指す。
(特に大型港湾プロジェクト・陸上土木案件に注力)
- ・民間土木は、防災・減災及び港湾リニューアルに重点を置き、当社保有の液状化対策技術の提案等により受注額の積み上げを図る。

■国内建築 (500億円 前期比 △2.1%)

- ・上半期実績では期間経過率を下回っているが、下半期に大型案件が控えており、前期と同程度になる見込み。

■海外 (210億円 前期比 △73.4%)

- ・前期に大型案件の受注が相次いだ反動減となる見込み。引き続き、東南アジア地区の港湾工事、火力発電所工事に注力。

Ⅱ-3 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)

売上高		2015年 3月期	2016年3月期		売上損益 利益率		2015年 3月期	2016年3月期	
(単位：億円)		実績	見通し	前期比	(単位：上段-億円、 下段-%・ポイント)		実績	見通し	前期比
国内土木		881	1,030	16.9%	国内土木		132	116	△12.7%
							15.1%	11.3%	△3.8%
国内建築		548	430	△21.6%	国内建築		23	26	11.3%
							4.3%	6.0%	1.7%
国内計		1,429	1,460	2.1%	国内計		156	142	△9.1%
							10.9%	9.7%	△1.2%
	土木	375	370	△1.5%	海外		△13	48	-
	建築	30	90	191.8%					
海外計		406	460	13.1%			△3.3%	10.4%	13.8%
	土木	1,257	1,400	11.4%	原価差額等		△7	△12	-
	建築	579	520	△10.2%	建設事業計		135	178	31.3%
建設事業計		1,836	1,920	4.6%			7.4%	9.3%	1.9%
開発事業等		20	20	△3.8%	開発事業等		2	4	63.3%
							11.8%	20.0%	8.2%
不動産等		10	10	△6.9%	不動産等		△3	3	-
							△32.8%	30.0%	62.8%
合計		1,867	1,950	4.4%	合計		134	185	37.6%
							7.2%	9.5%	2.3%

□売上高 (1,950億円、前期比 4.4%)

■国内土木 (1,030億円、前期比 16.9%)

上半期に受注した工事の順調な進捗により、売上高を確保。

■国内建築 (430億円、前期比 △21.6%)

前期の反動減により、前期比減。

■海外 (460億円、前期比 13.1%)

豊富な繰越工事の順調な施工により前期比増。

□売上損益 (185億円、前期比 37.6%)

■国内土木 (116億円、前期比 △12.7%)

下半期に労務費などの上昇圧力が強まる懸念もあり、前期比減。

■国内建築 (26億円、前期比 11.3%)

不採算工事の減少などにより、前期比増。

■海外 (48億円、前期比 -)

一部の不採算工事が前期末に竣工、繰越工事も順調に進捗し、利益率が回復。

Ⅲ. 上半期の主な受注工事の状況

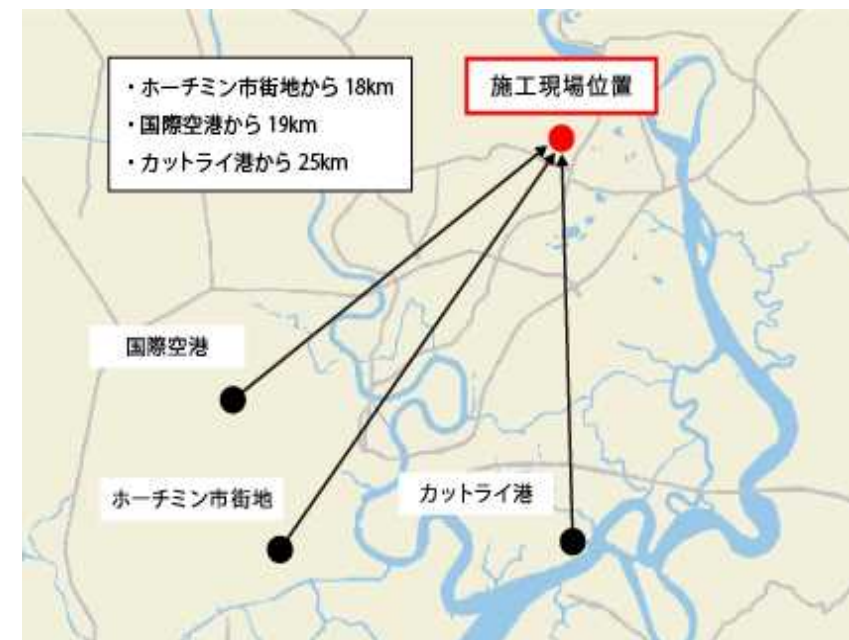
■ベトナムで「クールジャパンCLK冷凍冷蔵倉庫新築工事」を受注

工事名 : クールジャパンCLK冷凍冷蔵倉庫新築工事

発注者 : CLKコールド・ストレージ社

工事場所: ベトナム社会主義共和国 ビンズオン省 タンドンヒエップB工場団地

工期 : 12ヶ月(2016年7月完成予定)



Ⅲ. 上半期の主な受注工事の状況

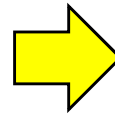
事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期(自～至)	
国内土木	茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区廃棄物埋立護岸築造工事(その3)	国土交通省関東地方整備局	JV	2015年9月	2019年6月
	矢本西地区第5治山工事	東北森林管理局	単独	2015年9月	2016年3月
	南本牧ふ頭第5ブロック廃棄物最終処分場(仮称)建設工事(その54・基礎及び本土工)	神奈川県横浜市	JV	2015年5月	2017年2月
	東京国際空港C滑走路他地盤改良工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2015年5月	2016年3月
	東京湾浅場造成工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2015年5月	2016年3月
国内建築	(仮称)ヨコレイ十勝第三物流センター新築工事(建築工事)	横浜冷凍(株)	単独	2015年5月	2016年8月
	渋谷区幡ヶ谷3丁目計画新築工事	三菱地所レジデンス(株)	単独	2015年6月	2018年4月
	塩竈市錦町東地区災害公営住宅建設工事	(独)都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部	単独	2015年7月	2016年11月
	(仮称)ヴェルディ西条西本町新築工事	(株)信和不動産	単独	2015年8月	2017年3月
	リーガル四ツ橋立売堀Ⅱ新築工事	(株)創生	単独	2015年6月	2017年3月
海外	ポートビラ港ラベタン国際多目的埠頭整備計画	バスアツ共和国公共事業省	単独	2015年5月	2017年5月
	クールジャパンCLKベトナム冷蔵倉庫新築工事	CLKコールド・ストレージ社	単独	2015年7月	2016年7月

IV. 最近の技術開発

■既設の栈橋鋼管杭の新しい巻立て補強工法 「タフリードPJ工法」を開発



接合部の腐食状況



接合部の補強状況

■工法の特長

- ・鋼管杭と上部工の接合部における杭断面の曲げ耐力の向上
- ・鋼管杭の長期防食性能の向上
- ・杭変形に対する追従性と防食性能
- ・耐衝撃性・耐摩耗性の向上
- ・ライフサイクルコストの低減

□ お問い合わせ先

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1

新宿パークタワー31F

東亜建設工業（株） 経営企画部広報室長 清水 祐治

TEL:03-6757-3821 FAX:03-6757-3830

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。

Yes! Harmony

